

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	まちづくり出前市長室事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり	事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	1	新しい形・市民参加都市 なんと			終期
(小項目)		市民参画			
施策	3	開かれた行政と市民参画の推進			
基本事業	2	出前市長室の開催と広報広聴			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民及び地区自治振興会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民と市長がまちづくりについて意見交換することにより、地域の課題を共有するとともに、相互理解を深める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		意見交換を行ったテーマ数	84	84	84	84	84	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	地域の特性や状況等に応じて、平日の夜や土・日など各地区の住民ができるだけ参加しやすいように開催日時に配慮した。また、課題として上がった事項は、担当課に速やかに伝達することで、迅速な対応を図った。【開催地区】北灘地区、瀬戸地区、板東地区、里浦地区、大津地区、堀江地区、中央地区					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	まちづくり出前市長室開催回数	7	7	7	7	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	意見交換を行ったテーマ数		104	128	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			152.4	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		26	16	20	20	20	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	26	16	20	20	20	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		2,607	3,009	2,358	2,358	2,358	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3		
	臨時職員等(2,012千円/人)		0.2	0.2	0.2	0.2		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,633	3,025	2,378	2,378	2,378	千円	

【事務事業名：まちづくり出前市長室事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

<b>現在の実施状況</b>	桑島、木津神、鳴門東、鳴門西、黒崎、川東、斎田の7地区で開催することとしており、できるだけ多くの住民が参加しやすいように、各地区自治振興会と開催方法などを相談しながら実施する。自治基本条例の施行に伴い、市民が主役のまちづくりを推進するためにも「市民参画」「協働」「情報共有」がますます重要であり、そのため地区内の各種団体が連携して組織している地区自治振興会を単位として開催することで、継続的に地域課題を把握していく。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	<b>1.必要性の評価</b>			<b>理由等所見欄</b>
	<b>8</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	各地域で市の取り組みや考えを説明できるとともに、市民の市政に対する思いも把握できるなど市民参画につながっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 開かれた行政と市民参画の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	<b>2.有効性の評価</b>			<b>理由等所見欄</b>
	<b>8</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	地域ごとの課題を把握し、各課にも伝達していくことで、課題の解決に向けた取り組みにつながる。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
<b>3.効率性の評価</b>			<b>理由等所見欄</b>	
<b>8</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

<b>課題等</b>					
<b>今後の方向性</b>	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
<b>今後の改革案</b>	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				